

# 千代田支部ニュース

〔千代田支部のスローガン〕 伝統を未来へつなぐ<sup>いま</sup>現在を生きる

平成19年1月／東京都印刷工業組合千代田支部

発行人／吉田千秋・編集人／塚田司郎

## 第六回 物故者合同慰霊祭（上野・寛永寺）

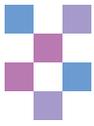
日 時：平成18年11月25日(土) 午後14:00～  
会 場：上野・東叡山寛永寺本坊

秋晴れの11月25日(土)、第六回 物故者合同慰霊祭が上野・寛永寺本坊においてとりおこなわれた。

東京都印刷工業組合の浅野理事長をはじめ9名の来賓の方々にもご参加いただき、合計64名が参列した。物故者合同慰霊祭は10年に一度ということもあり、千代田支部をあげての盛大な会となった。



▲ 千代田支部・物故者合同慰霊祭式場／東叡山寛永寺本坊



## ○法 要 (午後 14:00 ~ 15:25 / 寛永寺本坊・内仏殿)

司 会：安藤副支部長 / 宥ゑびす堂

### ●法 話 (14:00 ~ 14:15)

法要は明るい中庭に面した寛永寺本坊・内仏殿で、落ち着いた雰囲気の中とっておこなわれた。

開会に先立って、寛永寺法務部執事、津梁院長澤徳栄師よりご法話があった。「この場にいることの意味を高めるために、一所懸命に、命をかけて故人の事を法要してください。人生の大事な1ページに時間を費やすことを、無駄にしないでください」とのお話があった。



▲ 司会 / 安藤副支部長



▲ 法話 / 津梁院長澤徳栄師



▲ 開会の言葉 / 奥村副支部長



▲ 読経 / 現龍院浦井正明大導師

### ●開会の言葉 (午後14:15 ~ 14:20)

奥村副支部長 / 奥村印刷 (株) より開会にあたり、「昭和31年に第1回合同慰霊祭をこの寛永寺でおこない、以来50年、今回で第6回目となった。この千代田支部の大きな祭事に対して、前執行部と現執行部が全力であたってきた」との言葉があり、参列者、寛永寺の方々に謝意が述べられた。



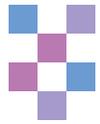
### ●導師入場 (午後14:25)

### ●読経 (午後14:25 ~ 15:00)

本慰霊祭の大導師は、寛永寺執事長、現龍院浦井正明大導師である。浦井大導師は深紅の法衣を身にまとい、第六回 物故者合同慰霊祭の趣旨を読み上げられ、続いて5人

びんりゅういんうら いしやうみょう





の導師による読経となった。寛永寺は東叡山の山号が示す通り、東の比叡山として寛永2年(1625)に建立された天台宗の関東総本山である。開基は、天海上人。

読経の途中には、大導師たちが立ち上がり、花びらを撒くという密教の天台宗らしい場面も見られた。

この日祭祀された御霊は、故・相原太郎殿を始めとする222柱であった。

● **焼香** (午後14:35～14:55)

吉田支部長、東印工組・浅野理事長の指名焼香に始まり、重厚な読経の中、参列者、遺族らの焼香がおこなわれた。



▲ 指名焼香／浅野理事長

● **導師退場** (午後15:00)

● **追悼の言葉** (午後15:05～15:15)

導師退場の後、吉田支部長より追悼の言葉が読み上げられた。故人となった千代田支部の先輩方に追悼の言葉を捧げ、この千代田支部をさらに後進の人たちに引き継いでいくという強い意志を示された。続いて浅野理事長より、東印工組の中心的存在の千代田支部で活躍された先人達に対して追悼の言葉が読みあげられた。

(追悼の言葉／全文掲載 P6)



▲ 追悼の言葉／吉田支部長



▲ 謝辞／矢部相談役

● **遺族代表謝辞** (午後15:15～15:20)

遺族を代表して矢部相談役／三松堂印刷(株)より、感謝の言葉が述べられた。この10年間に故人となられた方は33名。

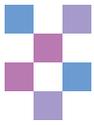
(遺族代表謝辞／全文掲載 P7)

● **閉会の言葉** (午後15:20～15:25)

塚田副支部長／錦明印刷(株)より、「千代田支部80年の歴史に足跡を残した偉大なる先輩方の先見性や気概を、現代に生きる私たちも受継ぎ、それぞれの会社の、ひいては支部の発展に努力していきたい」との言葉があり、関係者各位に感謝して閉会となった。



▲ 閉会の言葉／塚田副支部長



## ○法 宴 (午後15:35 ~ 17:00 / 寛永寺本坊・大書院)

司 会：橋本副支部長／文唱堂印刷(株)

法要の後、寛永寺本坊内の大書院に会場を移し法宴がおこなわれた。冒頭で、吉田支部長の挨拶、浅野理事長のご来賓代表挨拶を賜り、新村顧問の献杯のご発声によって法宴が開始された。



▲司会／橋本副支部長



▲献杯／新村顧問

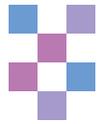


▲ご挨拶／浅野理事長



▲ご挨拶／吉田支部長





肅々とおこなわれた法要に対して、法宴は故人の思い出話して盛り上がり、和やかな会となった。法宴の途中、新村顧問、倉沢全印健保理事長、小林顧問ら先輩方がそれぞれの思い出を語られ、改めて千代田支部の歴史の奥深さについて考えさせられた。

法宴は、定刻通り、17時に戸根木副支部長から閉会の挨拶があり、散会となった。



▲思い出／新村顧問



▲思い出／倉沢全印健保理事長



▲思い出／小林顧問



▲閉会の言葉／戸根木副支部長



▲慰霊祭スタッフの皆様、お疲れさまでした。

吉田支部長ほか運営に当たられた副支部長の方々、幹事の方々、事務局の方々、東都葬祭のスタッフの方々、本当にお疲れさまでした。

---

## ○追悼の言葉

---

本日ここに、東京都印刷工業組合・千代田支部・物故者合同慰霊祭を、ご遺族の方々を始め業界ご来賓の方々のご参列を得て、物故なされた先輩諸賢に対し感謝の心を込めた慰霊祭を厳粛に行うことが出来ますことは、私ども千代田支部員の光栄であり、感激の極みであります。

深まる秋の季節の中、由緒ある寛永寺において、本日、新たに合祀されます御霊は、平成8年以降今日まで10年間の物故者33霊であり、更にこの方々を含めまして222霊の御霊を追悼のための慰霊祭であります。

この方々は、当千代田支部発足以来80有余年、支部の礎を築かれ、発展へと導く栄光の歴史を築き上げる、原動力として活躍された方々ばかりであります。

伝えられている支部の歴史によれば、千代田支部の発足は、遠く昭和の初期と伝えられております。爾来80有余年の歴史を刻んでおりますが、これは多くの先輩諸賢の並々ならぬご努力により、幾多の困難を乗り越えて築かれた、栄光の歴史であります。また、この様に築かれた伝統は、支部の発展のみならず印刷業界全般の発展向上に、多大な貢献を続けている事は、私達の大きな誇りであります。私達が今日、千代田支部員として、印刷業界の繁栄のために活動できますことは、偏に、先輩諸賢が築かれた、歴史と伝統の道が続いているからであり、改めて先輩諸賢に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表したいと存じます。

この様に多くの先輩の築かれた、我が千代田支部のあゆんだ道は、戦争から平和へ、更に世界に燦たる経済発展へと、歩みを進めた昭和の歴史そのものであります。またこの間の印刷業界は、高度化から近代化へと支部の偉大な先輩のリーダーシップのもとで、全く新しい方向に進んでまいりました。

そして21世紀に入り、印刷業界はデジタル化からITネットの時代へと更に大きく変化を遂げてまいります。即ち需要構造の大変革であり、我々自身が業態変革を為し遂げねばならない時代でも有ります。

また、現代社会の人々の有り様は、余りにも利便性のみが持て囃されたり、差別化の傾向が強くなり、人の心が、特に日本人特有の情緒と優れた感性が、薄れて寂しくなりつつあります。

この様な時代にこそ、営々と支部を護り継いで来られた、先輩諸賢の不撓不屈の精神を受け継いで行かねばなりません。まさに千代田支部の歴史は、人と人との繋がり、心と心の繋がりが、今日を支えているのであるといっても過言ではありません。

人間とは、常に次の世のために、次の世を支える人のために、今を生きるべきであるという教えがあります。

栄光の歴史を継いで来られた偉大な先輩の方々、皆様がお渡し下されたこの千代田支部を、私達は懸命に支えて、しっかりと次の世代へと引き継ぐことが出来るよう、相携えて努力を続けることのみが、ご恩に報いることであると信じて、進んで参りたいと存じます。

本日は皆様の跡を受け継いでこられたご遺族の方々と、皆様に育てて頂いた後輩達が、先輩を偲びながら一堂に会しております。

どうぞ天の一角から、この情景を温かく見守って頂きたいと、心から願っております。

ここに千代田支部を代表して慶弔の誠を捧げ、ご遺族の皆様の中を偲びながら、謹んで在天の御霊のご冥福を祈り、追悼の言葉と致します。

東京都印刷工業組合 千代田支部支部長 吉田千秋

---

秋色深まる上野寛永寺で、東京都印刷工業組合千代田支部主催による、第6回物故者合同慰霊祭が執り行われるにあたり、東京都印刷工業組合を代表し、謹んで222柱の御霊に対しまして、追悼の言葉をささげます。

千代田支部の前身は、明治末期の神田活版石版印刷業者有志会に始まると伺っていますが、生前、皆様には、その尊い生涯の大半を印刷業にささげられ、激動する時代、環境の変化、技術の革新などに対処しつつ、業界発展に尽力され、東京の印刷業の礎と繁栄に多大の貢献をされました。また、支部の伝統ともいふべき「堅い団結」ものと「企業の発展は業界作りにある」と支部を越えて業界全体のために活躍され、その精神は支部創立以来80有余年の永きにわたり、今日まで力強く受け継がれ、今や名誉と輝く伝統を持つ支部として、衆目の認めるところであります。

一方、東京都印刷工業組合を代表する支部として、今日まで数多くの指導者を輩出され、卓越した指導力、牽引力によって業界は東京都の地場産業としてその地位を確固たるものにできたのであります。そのご努力と

---

---

ご事績は業界の諸活動の随所に今も引き継がれており、衷心より敬意と感謝の誠をささげるものであります。

ご遺族の皆様におかれましては、長い間にわたり苦楽をともにされ、常に暖かいお心遣いとお力添えをされたご功績は誠に大きいものであり、そのご苦勞に対しまして深く敬意を表するものであります。

21世紀に入って印刷産業を取り巻く環境は大きく変わり、変化のスピードも加速しています。メディアの多様化に伴い、サービスの形も多様化しています。さらに国の中小企業振興施策も、やる気・活気のある個々の企業への支援へと大きく転換し、組合のあり方も今、問われているところです。故塚田さんは、「団体組織がなかったら、その会社は経済界の中で野ざらしになった雑草のようなものになってしまう。本来、業界団体は組合員にメリットを与えるために組織されるのではない。自分の方から近づいて利用するのである。私たちは業者組織があるから印刷業者として社会的な認知を受けている」という言葉を遺作に残されました。この言葉には、組合設立に関わった先人の崇高なる思い、志が集約されていると思います。

私も組合を指導する立場の一人として、この思いを現在の組合員に再認識していただくよう努力しつつ、いつの時代も多くの課題がありますが、先輩諸賢のご遺志を継いで、千代田支部の皆様とともに、名実ともに東京の印刷産業にふさわしい、情報と生活と文化を支え、社会の存在基盤である「お客様のお役に立つ」を常に意識し、変革にチャレンジし、新たなニーズに応える印刷産業実現のため、皆様とともに邁進する所存でございます。

ここに謹んで、御霊のご功績を偲び、とこしえのご冥福とご遺族各位のご健勝とご繁栄を心から祈念して、追悼の言葉といたします。

東京都印刷工業組合 理事長 浅野 健

## ○謝 辞

---

業態変革の真ただ中で先輩諸賢の軌跡を思う。

秋深まり、陽差しが心地よく感ずる本日、この明治維新の象徴でもあった上野寛永寺において東京都印刷工業組合千代田支部主催のもとに、各界のご来賓の方々並びに支部各位のご参列を頂き、今はなき先輩諸賢を偲ぶ合同慰霊祭を執り行って頂きました。

支部長をはじめ執行部の方々のこころ温まるご配慮とご尽力の賜物とあつく御礼申し上げます、と共に皆様方から心に染み入るお言葉を賜り、ここに遺族を代表し謹んで御礼申し上げます。

10年前の合同慰霊祭では、千代田支部支部長として追悼の辞を手向けましたが、本日は平成10年2月に身罷りました父矢部富三の遺族として参列させて頂きました。

顧みますと千代田支部は、昭和の初めに呱呱の声を上げ、すでに80年の歳月を石刻致しました。歴史上かつてなかった戦前戦後の激しい時代に、己の叡智と才覚と決断によって希有の時代を乗り越え、先輩諸賢の並々ならぬご努力とご功績は忘れることが出来ません。その間逝去されました先達、先輩は222名にも及びます。

この10年間私達は、かつてない長期のデフレ不況のなか、中小企業近代化促進法から中小企業経営革新支援法が施行され護送船団方式から自己責任への時代へ移り、IT技術の利活用が急務の課題になりました。まさに、第3の維新を乗り越えようとしている矢先に原油の高騰による諸資材の値上がりなど諸問題が山積しております。

私達残された遺族は、組合員諸氏と心を1つにして先輩諸賢の軌跡を学び、結集し印刷業界の業態変革を成し遂げようと、誇りある伝統と輝く歴史を汚す事のなきようたゆみない精進と努力を続ける所存であります。古人曰く「苦難は美德である」と言っています。

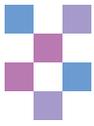
そんな時期本日の合同慰霊祭において先輩諸賢の叡智と才覚による努力の軌跡をたどる事は、私達遺族にとつてかけがえのない導きであり、学びであります。

本日私達は思想・信条・宗教にとらわれず、すべてを越えて先輩諸賢の遺徳を偲んで本日ここに相集いました。どうか彼岸浄土より私達を時には叱咤激励し、温かく見守って下さい。

本日は盛大な合同慰霊祭を営んで頂きました皆様のご厚情に対し、遺族一同を代表いたしまして、心から厚く御礼申し上げます。

本日はまことにありがとうございました。

遺族代表 矢部 一憲



## 第40回 敬老の集い(明治神宮)

日 時：平成18年9月12日(火)

会 場：明治神宮(神楽殿、参集殿)

9月12日(火)、東印工組主催の第40回 敬老の集いが開催された。

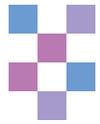
あいにくの雨の中、集いには91名の長寿者が出席した。千代田支部からは、100歳の春田金太郎氏を筆頭に、西田栄治氏(87歳)、新村重晴氏(83歳)、和田和二氏(79歳)、岩本明義氏(78歳)の5名が元気に参加された。

神楽殿で参拝した後、修祓、祝詞奏上、神楽、鈴振りの儀がとりおこなわれた。続いて、東印工組・浅野理事長と長寿者を代表して中山一雄氏(85歳、板橋支部)が玉串を奉納した。

お神酒をいただき、本殿前で記念写真を撮った後、参集殿に移動して祝賀会となった。

冒頭では浅野理事長が挨拶し、業界先人たちの功績を讃え、感謝の言葉を述べた。乾杯の音頭は利根川副理事長。祝賀会では、ザ・スリードコンナモンズによる懐かしい軍歌の合唱などが飛び出し、賑やかな会となった。





## 千代田印刷人ゴルフ大会

日 時：平成18年10月4日(火)

場 所：鷹之台カンツリー倶楽部

10月4日(火)鷹之台カンツリー倶楽部において、千代田印刷人ゴルフ大会が開催された。秋晴れの元、総勢44名の参加があった。優勝は(株)錦精社の野見山芳忠氏、2位は(株)田村洋紙店の豊田高明氏、3位には(株)桜井グラフィックシステムズの桜井美国氏が入り、ベストグロス日は日経印刷(株)の林吉男氏だった。プレーの後は、クラブハウスで成績発表があり、懇親の会となった。



優勝	野見山芳忠氏	(株)錦精社	OUT=44/IN=43	GROSS= 87 (HDPC=14)	NET=73	
2位	豊田高明氏	(株)田村洋紙店	OUT=42/IN=41	GROSS= 83 (HDPC=7+1)	NET=75	シニア優勝
3位	桜井美国氏	(株)桜井グラフィックシステムズ	OUT=45/IN=51	GROSS= 96 (HDPC=18+2)	NET=76	シニア2位
BB賞	今井義雄氏	今井印刷(株)	OUT=75/IN=58	GROSS=133 (HDPC=30+6)	NET=97	
BG	林吉男氏	日経印刷(株)	OUT=42/IN=38	GROSS= 80 (HDPC=0+1)	NET=79	

## 暑気払い

日 時：平成18年9月5日(火) 18:00～

場 所：欧風ビアレストラン「放心亭」

9月5日(火)、恒例の暑気払いが神田三省堂下の放心亭で開催された。62名の方に参加していただき、地区再編後の新しい組織になって、初めてのグループ合同懇親会としてコミュニケーションの場となった。



## 第3回マーケティング（営業）委員会

### FM スクリーニング印刷による印刷品質の差別化と提案営業

日 時：平成 18 年 10 月 13 日(金) 15:05 ~ 17:15

場 所：日本印刷会館5階 東印工組会議室

出席者：マーケティング委員会 15 名、本部1名、事務局2名

講 師：真壁 敏氏（クレオジャパン株式会社／マーケティング本部 副本部長）

田島 信介氏（クレオジャパン株式会社／プロフェッショナルサービス&VIP マネージャー）

塚田副委員長（錦明印刷株式会社）による事例紹介

#### ①「印刷業界進化論」印刷 2.0 は実現するか（真壁 敏氏）

印刷ビジネスを取り巻く環境が変化してきている。

例として、他業種、メディアの競合、設備産業、デジタル／ブロードバンドなどがあげられるが、誰が競合相手か、競合相手の顔が見えないという非常に不確かな状況を迎えている。

#### 《印刷ビジネスを取り巻くキーワード》

- 情報化社会 ネット化／プロ化／ステルス化
  - コンテナ／コンテンツ
  - PULL / PUSH 型ビジネス
  - マスマーケティング／ナノマーケティング
  - 消費者行動の変化
- 「AIDMA」から「AISAS」、「AISCEAS」

「Web 2.0」は、2005 年 9 月に Tim O'Reilly が発表したコンセプト。これは、特定の形があるものではなく、あくまでも物事の見方とかコンセプトを表すもの。ただ、時代がこういうコンセプトに流れていく中で、印刷業界も時代に受け入れられているコンセプトに切り込むような発想が必要になってくる。

印刷業界は景気などの社会状況影響を受けやすい。そこから脱却するためには、社会を先行するスタイルが必要になる。社会で必要とされるものに対して、一歩先に出るようなサービスを印刷会社が考えて提供しはじめれ

ば、社会状況に影響される前に手を打つことができるのではないかと。

#### 《Web 2.0 のコアコンピタンス》

- パッケージソフトウェアではなく、費用効率が高く、拡張性のあるサービスを提供。
- 独自性があり、同じものを作ることが難しいデータソースをコントロールする。このデータソースは利用者が増えるほど、充実していくものでなければならない。
- ユーザーを信頼し、共同開発者として扱う。
- 集合知を利用する。
- カスタマーセルフサービスを通して、ロングテールを取り込む。
- 単一デバイスの枠を越えたソフトウェアを提供する。
- 軽量なユーザーインターフェイス、軽量な開発モデル、そして軽量なビジネスモデルを採用する。

印刷業は設備産業といわれる。しかし、DTP／CTP といった技術革新が一段落すると、次にくるものが今のところ見つからない。これからは、技術の革新を待つのではなく、ビジネスのモデルを新しく作って、その中に必要な技術をはめ込んでいくといった発想が必要になる。

他のメディアと比較すると、印刷の強みは「美しい」ということ。印刷の「美しさ」には限界はない。

## ②高付加価値印刷を実現する FM スクリーニング「Staccato」(田島 信介氏)

FM スクリーニングは、第2世代に入った。クレオジャパン株式会社が提供する「Staccato」は、第1世代の FM スクリーニングがかかえていた幾つかの問題を、独自のドットパターンを開発することにより解決した。

また、この技術を支えているのが、SQUAREspot というレーザー・システムで、高品位なプレートを安定して作ることができる。

### 《FM スクリーン Staccato の効果》

- ガモット(色再現領域)が広がる。
- スクリーニング時に発生するモアレ、ロゼッタを回避する。
- 写真のような滑らかな階調表現ができる。
- 細かい多色文字がシャープで線切れもなくなる。
- 白抜き文字が鮮明になる。
- 印刷中の色のバラツキが少なくなる。
- コストをかけずに特色の効果が出せる。
- インキの乾燥時間が短縮される。
- インキの消費量を削減する効果がある。

## ③ FM スクリーニングの事例紹介

FM スクリーニングによる、「カレンダー」「カタログ」「書籍」の事例紹介があり、それぞれに対する顧客の要望などが説明された。

## ～千代田支部からのお知らせ～

### ①平成 18 年度の事業

#### ●千代田支部新年懇親会

日 時：平成 19 年 1 月 22 日(月)

場 所：ホテル・メトロポリタン・エドモンド

#### ●組合員のつどい(本部主催)

日 時：平成 19 年 2 月 23 日(金)

場 所：東武ホテル レバント東京

### ②新規加入及び脱退

入 会：彩光印刷(株)

脱 退：(株)千代田平版社

住友出版印刷(株)、(株)正文社

### ③訃 報

10 月 8 日 坂口 正三郎様(86 才) 坂口印刷

12 月 19 日 石野 昭夫様(78 才) (株)博文社

### ④お詫びと訂正

千代田支部ニュース 319 号において、お名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) P2 / 地区グループ長【D グループ】柴崎 孝

(正) P2 / 地区グループ長【D グループ】芝崎 孝

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。どうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

協賛会社 17社



千代田洋紙株式会社

代表取締役社長 瀬川治紀

〒101-0051 東京都千代田区神田錦町3-11

TEL.03(3293)1411 ⑫



(取扱い品目)  
**紙** 出版・印刷用紙、包装用紙、  
 情報用紙、特殊紙、板紙

株式会社 **鷹紙業**  
 代表取締役 戸塚 浩二

本社/東京都中央区銀座2-6-11 電話(03)2741281(代表)  
 新宿店/東京都新宿区新宿2-1-1 電話(03)3271271(代表)  
 三軒店/東京都江東区横山2-6-14 電話(03)5641221(代表)  
 朝霞店/東京都朝霞区朝霞2-9-9 電話(03)781211(代表)

  
**二葉紙業株式会社**  
 〒101-0051  
 東京都千代田区神田神保町3の27  
 電話 03(3265)6151 代表

**Sakurai**  
 全自動オフセット印刷機  
 自動スクリーン印刷機

(株)桜井グラフィックシステムズ  
 〒135-0032 東京都江東区船場2丁目2番9号  
 電話 03(3643)1131 (大代表)

下

- 洋紙
- 板紙
- ブッククロス

株式会社 **田村洋紙店**  
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2  
 電話 東京5210-3121

**SCREEN**  
 MEDIA TECHNOLOGY

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン  
 MEDIA TECHNOLOGY JAPAN CO., LTD.  
 東京都千代田区九段南2-3-14  
 電話 03-3237-3124

豊かな色彩を求めて  
 技術のディック

**DIC**

大日本インキ化学

紙の心臓部

**四国紙商事株式会社**  
 東京都千代田区内神田1-13-7 〒101-0047  
 TEL(03)3293-4591 FAX(03)3293-3284  
 営業所 城東(墨田区)城北(中野区)城南(大田区)

**TOYO INK**  
 www.toyoink.co.jp



東洋インキ製造株式会社 Tel:03-3272-0620

**KOMORI**  
 freedom of impression

(株)小森コーポレーション  
 http://www.komori.co.jp  
 本社 東京都墨田区西交橋3-11-1 〒130-8666  
 TEL 03-5608-7803~8(営業直通)

**FUJIFILM**  
 I&I - Imaging & Information

富士フイルム グラフィックシステムズ株式会社  
 本社

http://www.fjgs.co.jp

紙の心なる「はが」に!

**はが紙販株式会社**  
 HAGA PAPER CO., LTD.  
 本社/〒135-8522 東京都江東区本場3-14-4  
 Tel.03(3620)9611(代表) Fax.03(3620)9681  
 支店/大阪、名古屋、福岡、仙台、鹿児島

みんなの貯蓄で  
 地元の繁栄!

4時まで営業

◎城北信用組合三崎町支店  
 千代田区三崎町2-17-7  
 電話 (3264) 5821

**HEIDELBERG**  
 ハイデルベルグ・ジャパン  
 株式会社

〒140-8541 東京都品川区東品川3-31-8  
 TEL (03)6715-7377  
 URL http://www.jp.heidelberg.com/

山櫻

個人情報保護に最適!  
**ミエナイ白封筒**  
 好評発売中

株式会社 山櫻 神田支店  
 東京都新宿区払方町15番地  
 Tel.03-5261-4301

人から人へ 心を伝える  
 ハート紙製品

**ハート株式会社**  
 〒 東京都千代田区船場3-2  
 東京支店 101-0054 東京都千代田区神田神保町3-2  
 電話 03-3578-0311(代) FAX 03-3578-0321  
 中央支店 104-0046 東京都中央区明石町1-25  
 電話 03-3542-2721(代) FAX 03-3545-9547  
 新宿支店 160-0812 東京都新宿区西五軒町6-12  
 電話 03-3267-2711(代) FAX 03-3267-2835